

NTK てっこう長野 Vol.45

2024年1月

製作:長野県鐵構事業協同組合
E-mail: jim2014@na-tetsu.jp

TEL.026-262-1595
FAX.026-262-1597



写真提供:北信支部 トライアン(株) 大日方 宏次氏



2024新年理事長あいさつ	2
顧問県議と行政との懇談会	4
組合表彰者の紹介	8
組合員だより(南信支部)	9
理事会、委員会だより	12
Mグレード部会だより	14
青年部会だより	15
工場認定申請及び予定状況	16
工場認定申請手続きと組合員の動き	17
令和5年度前期技能検定について	18
組合からのお知らせ(創立50周年記念、訃報)	19
編集にあたって/表紙のことば	20

理事長あいさつ

これからの50年に希望 ～記念事業ご協力ありがとうございました



長野県鐵構事業協同組合
理事長 倉科 賢三

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

組合員並びにご関係各位の皆様におかれましては
お健やかに新年をお迎えのことと拝察いたします。
特に昨年は組合創立50周年事業にご協力いただき、
ありがとうございました。

同時に上部団体である全国鐵構工業協会も昨年
創立50周年を迎え、大きな節目の年となりました。

昨年、理事長としてまた一企業の社長として
様々な集会、会議等に出席する中で「人手不足」
が今まで以上に大きな課題となっています。
同時に採用と育成という面でも様々な取組みが
なされるようになってきました。全構協でも「次
世代経営研修会」、「社長の右腕講習会」等の
取組があり、長野県からも受講された方が
ありました。

昨年この原稿に人材採用と育成が重要になり
そうということを書かせていただきました。企業
の永続や発展にはいつの時代であっても欠か
せないテーマです。世界の中でも類を見ない
スピードで進んでいるといわれる日本の少子
高齢化は地方の人口流出による過疎化と大
都市圏への一極集中もあり、ますます人出
不足が加速しています。このような環境で
我々中小企業は何ができるのだろうか？
一刻も早く考え、行動していかなければ
ならないと感じます。

私たちに続く世代の人たちが希望をも
って入職し成長していってくれる環境が
整えられるようになることを願います。

2024
TEKKOU
NAGANO



理事長あいさつ

新年は「2024年問題」として労務時間の制限が厳しくなります。「よりよく生きる」ために積極的に取り組んでいきたいと思えます。

近年、建設業では大きな災害が多発しています。昨年も7月に静岡の国道工事で橋げたが落下し8名が死傷、10月には東京 八重洲において鉄骨の梁が落下して5名が墜落し、2名が亡くなるという事故が発生しました。原因や因果関係はまだ調査中なのかもしれません。反論を覚悟で書きますが、様々な法改正や安全器具の改善で危険が少なくなっていること、また時間外の労務時間が短くなり休日が増えていることは疑いの余地がないと思えますが、その中で職人本来の能力(技術・技能とっていいかもしれません)が磨かれていないのではないかと、それを磨く機会を奪っていないかとともに感じます。

「働き方改革」はもちろん遵守されるべきものですが、技術・技能は法的に制限された時間の中だけでは育まれないと思えます。大谷選手や藤井八冠は人が見えていない知らないところで努力や訓練を重ねた結果、才能を開花させたに違いありません。我々凡人は言わずもがなです。

2023年は癸卯(みずのとう)ということで「一つの物事が収まり次へ移行していく」という年でした。しかし実際は国内外とも多事多難

で様々な出来事があり、この原稿を書いている12月25日現在いまだそれぞれ終息を見ていない状況です。また「史上最も暑い夏」となり、天候不順も重なりました。

2024年は甲辰(きのえたつ)で、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」とのことです。ぜひ何か一つでもこれに当てはまること成し遂げられるよう祈りたいものです。

ちなみに私は還暦を迎える年男でもあります。

本年も「人間尊重」の理念のもと「これからの50年に希望」ある経営・企業を目指して組合員の皆様と様々な課題に取り組んでまいりたいと思えます。組合に対するご要望等ありましたら、お申し付けください。

厳しい環境は続きますが私たち経営者はいかなる状況でも勇気と知恵をもって経営を維持、発展させる責任があります。

明るい未来ある業界、企業であるよう新しい時代へ各社が発展していければと思えます。

終わりに2024年が関係各位の皆様にも輝かしい希望ある一年になることを祈念し理事長あいさつとします。



顧問県議と行政との懇談会

令和5年度 顧問県議と行政との懇談会 開催

1月25日(木)「長野ホテル犀北館」にて

令和6年の年明けは1月1日に発生した石川県能登半島での最大震度7の揺れを観測した大地震、そしてそれに伴う津波も発生し新年早々から大荒れの幕開けとなりました。更に翌2日には東京羽田空港で日本航空の旅客機と海上保安庁の航空機との滑走路での衝突炎上、海上保安庁の乗組員5人の死亡という事故となりました。日本航空の旅客機も衝突後に炎上しましたが18分間という短時間に全員避難という世界的にも奇跡といわれた脱出劇となりました。新年より大変痛ましい災害と事故に見舞われ開催も心配されましたが、災害はどこでも起こり得ることとして、災害の影響のなかった地域こそ踏ん張って経済を支えていく事こそ早い復興への足掛かりとなるのではないかという意味も込め、顧問県議と長野県建設部担当者を迎えての懇談会の開催となりました。

今年度は行政側により理解して頂こうと、一年に一回の機会だけでなく、新たに10月にも長野県と長野市建設部の皆さんとの工場見学と懇談会を企画し開催が実現しました。現場を見てお互いの理解を深める場となったのではないかと思います。それを受けての今回の顧問県議と行政との懇談会、倉科理事長を座長とし、青木運営委員長から運営委員会にて検討した審議事項を建設部の担当者に質問し回答頂きました。顧問県議の皆様にも懇談会の全体を通してのご意見を頂き今年度の懇談会の幕を閉じました。

懇談会後に開催されました新年会では、最初に能登半島地震の被害に遭われました皆様に心からのお見舞いと、ご家族や大切な方々を亡くされた皆さまへのお悔やみのことばを柳澤副理事長より申し上げ始まりとなりました。懇談会での審議事項は、この紙面にてご報告致します。

●開催日 令和6年1月25日(木)

●開催場所 長野ホテル犀北館

〔理事会〕 13:30～14:15 宴会場 WEST

〔懇談会〕 14:45～16:25 南館サロン

〔新年会〕 16:30～18:30 宴会場 WEST

〔ご出席頂いた顧問県議〕

風間 辰一 県議 (北信)

大井 岳夫 県議 (東信)

萩原 清 県議 (中信)

〔行政出席者〕

長野県建設部 建築技監兼建築住宅課長

塩入 一臣 様

施設課長

久保田達也 様

建築住宅課 主任専門指導員

佐々木武信 様

〔講演〕

野村證券 投資情報部シニアストラテジスト

山口 正章 様



顧問県議と行政との懇談会

①2024年問題に関する長野県の取組について。

長野県建設部 回答

- ・ 令和6年4月から時間外労働の上限規制が建設業にも適用され、働き方改革の着実な取組が喫緊の課題となっていると認識しています。
- ・ 長野県としましては、休日、準備期間、天候等を考慮した適正な工期の設定、予算の繰り越し手続き、債務負担行為の活用等による施工時期の平準化に努めているところです。
- ・ 週休2日工事への対応としては、昨年の10月以降に発注する工事については、建築工事を含む全案件を原則として「発注者指定型」の週休2日の対象工事として工事発注を行っています。市町村にも週休2日工事の導入を要請するとともに、国、県及び県内市町村で構成される「長野県発注者協議会」や、国土交通省のハンズオン支援も活用し、取組の事例を紹介するなど、週休2日工事の導入を促進しているところです。
- ・ また、建築工事におきましても、現場の生産性の向上のため、DX化の取組を推進しておりまして、令和5年4月から、「遠隔臨場」の試行や、「工事の情報共有システム(A S P)」活用の試行を行っているところです。B I Mについては、令和3年度に県内の建築関係団体を通じて建築分野における活用状況の調査を実施したところですが、現在、最新の活用状況等を把握するためのアンケート調査を実施しているところです。その調査結果や、国の動向等を踏まえ、今後の県としての取組について検討してまいります。
- ・ 最後に、時間外労働が特に多い現場技術者の

労働時間の削減に向け、工事書類の更なる簡素化を図るため、建設部発注の土木工事においては、令和6年度の公告案件より、建設業法、建設リサイクル法、標準約款等の法令等で「提出」を求めている書類は、監督員等が確認し、検査対象外とすることで、約3割の書類にあたる22書類の簡素化をすることとしております。

- ・ 建築工事においても、工事書類の更なる簡素化について、同様な方針での見直しの検討を進めることに加え、情報共有システムの積極的な活用等による電子納品を推進してまいります。

②人口減少化における人材確保に向けて、建設業に対するイメージアップを図るうえで昨年回答を頂いた

「建設産業の持続的経営安定と労働環境による更なる改善」

「若手人材の育成と技術承継」

「ICT等を活用した建設産業の生産性向上と更なるスキル向上」

など取り組むことが示されているという事ですが、この一年具体的に取り組んだ実績と成果など、進捗を教えていただけないでしょうか？

また、建設業全体の問題として、我々にもできることはありませんでしょうか？

長野県建設部 回答

- ・ 人口減少と少子高齢化の進行により、建設業など、暮らしの基盤を支える産業の担い手不足の深刻化が懸念されていることから、担い手の育成・定着に取り組んでいく必要があります。建設部においては、次世代を担う人材

顧問県議と行政との懇談会

確保に向けた取組として、働き方改革や、生産性向上などの新たな建設業の姿を発信しながら、関係団体のご協力のもと、建設系学科の高校生を対象とした現場研修会の開催や、更に若い世代の中学生に建設業の魅力発信をするなどの、就労意欲を高める取組を行っています。

- ・本年度の建設部としての主な取組は次のとおりです。

「労働環境の更なる改善」の取組としては、平成30年度に施工者希望型で導入した「週休2日工事」ですが、令和5年10月から「原則発注者指定型」による発注に移行しました。また、市町村の週休2日の取組を支援しており、令和5年度の取組としては、7月～2月にハンズオン会議を4回開催するなどし、事例紹介等を行う等の支援を行っています。時間外労働が特に多い現場技術者の労働時間の削減に向け、DX化を推進するため、建築工事においても、本年度から、遠隔臨場の試行や、工事の情報共有システム活用の試行を進めており、BIMについても、現在設計中である県庁省エネ改修の設計業務等で、試行的に活用するとともに、現在BIMの活用状況を把握するためのアンケート調査を実施しているところです。アンケートの集計結果はHP等で発信してまいります。

ICT土工等のICT活用工事については、生産性の向上や、魅力の創出による担い手の確保のため、平成30年度から適用工種を拡大して活用を推進しているところですが、本年度から入札（総合評価落札方式）によるインセンティブの拡充をしております。

また、建築工事の工事書類の更なる簡素化についても令和6年度からの実施に向けて検討

を進めているところです。

「若手人材の確保・育成」の取組としては、建設系高校生を対象に、現場見学・講習を実施しておりますが、本年度は14校を対象に実施しました。また、中学校に出向き、建設業の魅力を伝える出前講座を本年度は4校で実施しました。

建設産業の若手人材の確保に向けて、土木・建築等の専門教育を受ける高校生に対し、「建築施工管理技士補」等の入職後に必要な専門資格の取得を支援する試験準備講座を開催しており、令和5年度は、7会場で6校の生徒を対象に3種類の資格取得に向けた講座を開催しました。

人材育成の取組の一環として、毎年、優良技術者表彰なども行っているところです。

- ・また、本年度スタートした「しあわせ信州創造プラン3.0」においては、新しい時代に向けて、社会経済システムの転換や施策の新展開・加速化、他に先駆けた取組等を横断的に特に進めていく政策である「新時代創造プロジェクト」の一つとして「人口減少下における人材確保プロジェクト」を掲げており、プロジェクトの方向性として、働き方改革による魅力ある職場整備や多様な人材の労働参加を加速し、担い手不足が解消している社会を目指すこととしています。
- ・人材確保や若手人材の育成については、長いスパンでの地道な取組が必要であることから、引き続き、担い手の確保・育成に向けて、関係団体の皆さまと連携し、一緒に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

顧問県議と行政との懇談会

③長野県の今後の公共事業、建設工事等の案件、見直しについて。

長野県建設部 回答

- ・「松本平広域公園陸上競技場」建替え事業については、昨年12月に契約となり、令和7年度末の完成を目指し着工しております。
- ・教育委員会においては、これからの新しい学びを支える学習空間デザインやZEB化に対応した県立学校の整備を行う長野スクールデザインプロジェクトとして、県立高校の第二期再編に伴う「小諸新高」及び「伊那新高」の施設整備、並びに「松本養護学校」、「若槻養護学校」の施設整備に関する設計を進めているところであり、来年度から改修工事や除却工事等に着手する予定です。
- ・また、「佐久新高」、「須坂新高」及び「赤穂高校」の施設整備に関する基本計画策定支援業務のプロポーザルを実施、最適候補者と委託契約し、現在、基本計画の策定が進められており、来年度から基本設計・実施設計に着手する予定です。
- ・今後、教育委員会と連携しながら施設整備に関する発注等を行って行きたいと考えております。
- ・県警本部においては、「飯田警察署・南信運転免許センター(仮称)」については、今年度から設計に着手する予定です。
- ・こちらも今後、県警本部からの情報提供を受け、連携して施設整備に係る発注を行って行きたいと考えております。
- ・また、本年度総務部から「県庁周辺の県有地等有効活用のための調査・検討業務」が発注されておりますが、業務の中で、現在県庁舎の9階及び10階の県警察本部の移転を想定

した県警察本部庁舎の配置等の提案を求めることとなっています。スケジュールを含む整備計画等については、この委託業務の成果を受けて、今後、県警本部等において検討を進めることになるかと聞いております。

④10月19日にファブ工場(株式会社西澤製作所)を実際に見学された方々の率直な感想やご意見をお伺いしたい。工場見学のフィードバック

長野県建設部 回答

- ・県と長野市の建築技術職員の合同研修会ということで、西澤製作所さんの工場見学に参加させていただきました。
- ・県においては、建築技術職員のスキルアップ研修に位置付けさせていただき、営繕工事等の発注や、建築基準法等の関係法令を所管している、建築住宅課、公営住宅室、施設課の職員19名が参加させていただいたところです。
- ・また、市からは、建築課の職員を中心に、都市計画課、まちづくり課の職員9名が参加させていただきました。
- ・工場見学では、西澤製作所さんの工場、ストックヤード、事務所をご案内いただき、鉄骨の加工工程や、加工のための設計についてご説明をいただきました。
- ・また、第二部の技術懇談会におきましては、倉科理事長様、西澤副理事長様、青木理事様から現在の諸問題に関するお話をいただきました。
- ・鐵構事業協同組合の皆さまには、このような貴重な機会を設けていただきましたことに、この場をお借りして、あらためましてお礼申し上げます。

組合表彰者の紹介

【令和5年度 卓越技能者知事表彰(信州の名工)】

表彰式 令和5年11月10日(金)「長野ホテル犀北館」

◎【職種】 建築鉄工 部門
小笠原 敏彦 様 (株)小笠原鉄工

【令和5年度 職業能力開発促進功労者表彰】

表彰式 令和5年11月10日(金)「長野ホテル犀北館」

◎職業能力開発協会長感謝状受賞者(技能検定補佐員)
齊間 健次 様 (堀金工業株)



組合員だより



南信支部組合員だより



〔南信支部〕
綿半ソリューションズ株式会社
執行役員
鐵構カンパニー 製造ユニットマネージャー
吉村 学

当社、綿半グループ全体の取組みを御紹介させていただきます。

AI、ロボット化、MaaS等、第4次産業革命の到来により、世の中は急激な変化が押し寄せております。

また、新型コロナウイルス感染症の流行による働き方の変化も起こるとともに、女性や高齢者、外国人労働者など労働者属性の多様化も進んでおります。

当社は働き方改革が提唱される以前から、テレワーク制度やフレックス制度、パパ産休の導入や、それに伴うデジタル化にいち早く取組み、生産性向上を図ってきました。

今後も加速する世の中の変化に対応するため、さらなるICT化と時代に沿った人的資源管理施策に重きを置いて取組んでおります。

○ICT化のさらなる推進による事業価値の向上

- ・適切かつ迅速な情報共有の仕組み化及び、情報通信技術の活用のためICT室の設置
- ・グループ会社間、取引先との協働、連携体制の構築
- ・働き方改革に向けたICT関連の整備

○時代に沿った人的資源管理施策の実行

- ・次世代経営者育成研修や新規事業研究会等グループ共通研修の継続
- ・ライフサイクルステージやライフスタイルに合わせた働き方改革の継続
- ・事業特性と個々人のキャリアパスに即した専門研修の拡大
- ・ITスキルや英語力、創造力、対人関係能力など未来に必要なスキルや能力の開発

この様々な取組の中で「新規事業研究会」にフォーカスして、当社の取組を御紹介させていただきます。



組合員だより



「新規事業研究会」とは「考える力の養成」を目的として実施しており、「考える」→「纏める」→「伝える」→「取り入れる」というサイクルを繰り返し、数人のチームで出題されるテーマに沿って新規事業を考え、アイデアをチームメンバーでブラッシュアップして「考える力」を高めて行く内容となっております。

「考える」→ 日常生活、業務の中での不満や疑問の解決策を考える。

「纏める」→ 考えたこと、集めた情報を整理する。

「伝える」→ 整理した考えを分かりやすく人に伝える。

「取り入れる」→ 人の考えを取り入れる。他の意見を当てはめてみる。

各々でアイデアを持ち寄る中で、自分に無い気づきが他のアイデアにはあったりします。

疑問に感じなかった事柄へ興味を抱いたり、アイデアを考えるには情報収集が必要となるため、今まで興味の無かった情報を調べたりして多くの情報をインプットする機会にもつながっています。

この取組「新規事業研究会」を楽しく行うため、簡単なルール設定も行っています。「全員必ず発言する」「ネガティブ発言はしない」「相手の発言を最後まで聴く」「守秘義務を守る。チーム内ミーティングで知った情報を他言しない」この4項目です。



組合員だより



また、各チームにはリーダーを設定しますが、このリーダーには「聴く・ほめるコミュニケーション」を意識させ、グループディスカッションを良い方向へ導いて行くよう指導も行っております。

更には、同じ考えだけでは新しいものを生み出すことは困難であることから、当社グループ内の異業種・部門・国を超えて多様な人財と交流を図れるチーム編成で「新規事業研究会」を取進めております。

楽しくワクワクして取組める環境を作り実行して行く事で「考える力」は確実に高まってきており、多様な人と協力する事から、情報収集・分析が得意な人、資料作成が得意な人、プレゼンが得意な人等々、多



角的な触れ合いの中で自身がどのような形でチームに貢献できるか、効率的な組織造りの感性も持ち合わせて来ております。

少子高齢化・人財不足の中、特に建設業界での新規人財獲得は困難な状況で御座いますが、当社では「新規事業研究会」等を通じ、楽しい環境での人財育成、より多くの有益なコミュニケーションから人間関係の円滑化を図り、新規雇用獲得・離職者の撲滅に繋げ、「時代に沿った人的資源管理施策の実行」を行っている次第です。

世界情勢が不安定である事から資材価格の高騰や資材調達の困難化等、引続き厳しい事業環境が続くものと予測しております。お客さまとの信頼関係を構築するとともに、グループ内の相互連携を強化しながら独自の技術力を活かした製品開発を推進し、地域経済の活性化に取り組んでまいりたいと考えております。

創業500年(現在創業426年)へ向け、常に時代の先を読み、既存事業との関係性が高い事業領域への展開や、既存事業の販路拡大、ノウハウ転用による事業展開を図るなど、引続き事業ポートフォリオの変革に努めていく所存です。

これからも現状に満足せず、挑戦し続ける企業で在り続けたいと思います。

理事会、委員会だより



正副常任理事会、理事会、各委員会開催状況

(自 令和5年7月1日～至 現在分)

日 時	会 議 名	場 所
令和5年7月22日	運営委員会	長野市「組合事務所」
〃 9月15日	青年部 懇親会	長野市 事務局長宅
〃 9月19日	50周年記念誌打合せ会	長野市「組合事務所」
〃 9月21日	常任理事会	長野市「組合事務所」
〃 10月5日	性能評価研修会(技術委員会主催)	松本市「勤労者福祉センター」
〃 10月12日	青年部役員会	長野市「組合事務所」
〃 10月19日	県と市の技術懇談会(常任理事)	西澤製作所、ホテル国際21
〃 10月26日	関東支部会 長野出張支部会(常任理事)	信州戸倉上山田温泉「笹屋ホテル」
〃 10月27日	関東支部会 長野出張支部会 ゴルフコンペ	長野市「川中嶋カントリー」
〃 11月6日	運営委員会	松本市「勤労者福祉センター」
〃 11月6日	人材セミナー(運営委員会主催)	松本市「勤労者福祉センター」
〃 11月14日	理事会	長野市「組合事務所」
〃 11月17日	技術委員反省会	長野市「櫻屋びくら」
〃 11月25日	青年部 三県合同(栃木・群馬・長野)	安曇野市・松本市
〃 12月8日	顧問県議懇談会 事前議事検討会	長野市「組合事務所」
令和6年1月18日	青年部 役員会	長野市「組合事務所」
〃 1月25日	理事会	長野市「ホテル犀北館」
〃 1月25日	顧問県議と行政との懇談会(理事)	長野市「ホテル犀北館」

理事会、委員会だより



県と市との技術懇談会 開催 10月19日(木)

第一部〔工場見学会〕 『株式会社 西澤製作所』 13:30～15:30
長野県・長野市(29名)、常任理事(7名)、事務局(2名)、報道(1名)

- ◇更北公民館 真島分館にて挨拶と概要説明
 - ・理事長挨拶
 - ・常任理事の紹介
 - ・県と市の代表者挨拶 長野県・長野市 建設部
 - ・会社・工場の概要説明
- ◇工場見学(大橋工場・真島工場・大橋ヤード)
- ◇質疑応答



第二部〔技術懇談会〕 『ホテル国際21』 16:45～17:30
北信支部合流 13名 合計 33名

- ◇現在の諸問題について
 - ・鉄工所の現状
 - ・図面の決まりの悪さ
 - ・技能実習生の問題



第三部〔懇親会〕 『ホテル国際21』
17:30～19:30

関東支部会 長野出張支部会 開催 10月26日(木)

信州戸倉上山田温泉 『笹屋ホテル』

関東支部が毎年持ち回りで当番県になっている県へ出張しながら開催している出張支部会ですが、長野県の当番の年に大型の台風被害により中止、そして翌年はコロナ感染の拡大により再度の中止、さすがにその翌年は当番県を外して頂き群馬県へバトンタッチとなりました。群馬県での開催もコロナ感染を鑑みて規模を抑えての開催でした。

本来ですとその翌年は関東の他県での開催となるところでしたが、倉科理事長はリベンジ開催のごとく長野県にて開催と引き受けられたようです。三度目の正直と言いますか、令和5年度の長野出張支部会はコロナも収まり、ほぼ通常通りの開催規模に戻し、関東支部会・支部事務局長との合同会議、長野県組合との交流会と、三部構成にて信州戸倉上山田温泉の『笹屋ホテル』を会場に盛大に開催となりました。やっと関東支部出張支部会の当番のお役目を果たせた思いです。

翌日には有志によるゴルフコンペ大会も開催し、ご参加頂きました皆さんに長野の秋を満喫頂き幕を閉じました。次の長野での開催はいつになるでしょうか。

Mグレード部会だより



長野県Mグレード部会
部会長 高木 登志郎
フィット工業(株)

新年明けましておめでとうございます。

新年の幕開けと共に、1月1日には能登半島地震、2日には羽田空港の日航機と海保機の事故もあり、大変驚かされたことと今年1年の先行きに多少の不安を感じずにはいられませんでした。

しかしながら、各報道でもあるように羽田空港事故では旅客機の乗員全員が無事脱出できたことに規律を守る日本人の民族性が奇跡を起こしたと称賛されておりました。仕事にも通じるとは思いますが、根底にある助け合い、譲り合いの精神が大事であるこ

とを改めて感じさせられました。

コロナ禍も一応の終息を迎え、経済活動も活発になってきたかと感じますが、4月よりの2024問題の施行を控え、いろいろな業界で人材不足が深刻になってきています。当業界も、若手の入職者不足、従業員の高齢化、後継者問題、働き方改革など【人】に係ることが各社の最優先課題ではないでしょうか？

去年は、運営委員会主催の人材セミナーも組合として開催しましたが業界内で多数を占めるMグレードの会員の声がある意味業界の声となるかと思えます。

外国人の特定技能・技能実習関係も含め、問題提起も必要かと思えます。

これら諸問題も含め、本年は当部会がより一層有意義な会になるよう、皆様方の情報共有、交流の場となれば幸いです。

今後とも、皆様方のご理解、ご協力をお願い致します。



青年部会だより



長野県青年部会
副会長 高木 常典
フィット工業(株)

令和5年度の青年部活動は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、久しぶりに活気が戻ったと感じる1年となりました。

私事ですが今年度から中信地区の役員となり、6月には運営側となってから初めての青年部通常総会を行いました。不慣れな点もありましたが参加者様方の協力もあり、スムーズに進行することが出来たと思います。

9月には各会員との情報共有・親睦を兼ねて一人一品を持ち寄ってのBBQを行いました。初の試みとなりましたが、各々が考えた逸品を持ち寄ったことで豪勢な会となりました。

11月には群馬・栃木のFABを長野県に招いての三県合同研修会を行いました。昨今盛んに言われているSDGsを学ぶため、安曇野で県内の木材を使ったマイ箸の作成をしました。普段携わっている鉄とは違い一度失敗したら取り返しが付かないため、緊張しながらの体験学習となりました。

年明け以降も研修旅行・関東ブロック・全国大会等が予定されているので仲間との交流を大切にし、実りのある活動を続けていければと思います。



9月15日
青年部BBQ大会



11月25日
三県(栃木・群馬・長野)
合同研修会



工場認定申請及び予定状況

工場数：63(内認定工場：47社／未認定工場：16社)(2024年1月1日現在)

○令和5年度(2023年)後期の認定申請工場は4社でした。

内訳 Sグレード・・・0社 Hグレード・・・1社
Mグレード・・・2社 Rグレード・・・0社 Jグレード・・・1社

○令和6年度(2024年)前期の認定申請予定工場は3社です。〔前期申請受付4月〕

内訳 Sグレード・・・0社 Hグレード・・・2社
Mグレード・・・0社 Rグレード・・・1社 Jグレード・・・0社

トリアン株式会社、株式会社内田鐵工所、山田鐵工有限公司

性能評価申請書、各グレード別 基準類が新しくなっております！ 2022年2月改定

◎申請書

株式会社 全国鉄骨評価機構ホームページからダウンロードしてください。

◎基準額(工作基準、検査基準、製作要領書作成基準、外注管理基準)

一般社団法人 全国鐵構工業協会ホームページ(会員専用コーナー)よりダウンロード
〔HP会員コーナー ⇒ 技術情報 ⇒ 鉄骨製作工場の基準マニュアル集はこちら〕

申請先、申請受付期間、申請方法

〔申請先〕 組合事務所

申請工場 ➡ 組合事務局 ➡ 全国鉄骨評価機構 ➡ 国土交通省

◎申請書受付 〔前期〕4/1～4月末、〔後期〕9/1～9月末
◎工場審査日 〔前期〕8/9～8/26、〔後期〕12/2～12/20

※令和6年度より変更
となりました。

〔申請方法〕 株式会社全国鉄骨評価機構HPより性能評価申請書をダウンロードして頂き、
組合事務局へ申請書(エクセルデータ)をメールにて送付してください。

工場認定申請

申請書類の電子化 Excel データを組合事務局へメール送付

2021年後期申請より電子申請に変わっております。(紙の申請書の郵送は不要です)

申請工場が作成する『性能評価申請書類』は、添付資料を含めた一式を新様式のExcelにまとめ、このエクセルファイルに記載頂いた電子データを最終的には全鉄評に提出となります。エクセルファイルの申請書データを組合事務局にメール送付して頂き、確認と修正等を行った後、事務局から全鉄評へ提出させて頂きます。更に全鉄評にて確認頂いた後に問題無ければ国土交通省へ申請されます。

審査書類の事前送付 申請工場 ⇄ 組合事務局 ⇄ 評価員宅

〔基準類資料〕 3部送付

- ①工作基準、②検査基準、③製作要領書作成基準(M以上)、
- ④外注管理基準3部送付⑤『審査項目と記載基準名および記載ページ一覧表』

2021年度より新型コロナウイルス感染拡大防止策と、工場審査における当日の書類審査時間の短縮と効率化として基準類資料の評価員・調査員への審査日2週間前の送付と、評価員・調査員による事前確認の取り組みが行われています。実際に全国的に審査時間の短縮効果もあり、今後も継続していく流れのようです。申請工場に於いては事前送付の為に準備期間が前倒しとなって大変かと思いますが、ご協力宜しくお願い致します。基準類の資料は、評価員に2週間前に送付できるよう、配達日数も考慮し組合事務局宛に送付お願い致します。事務局より評価員・調査員に送付し、評価員にて事前確認して頂きます。

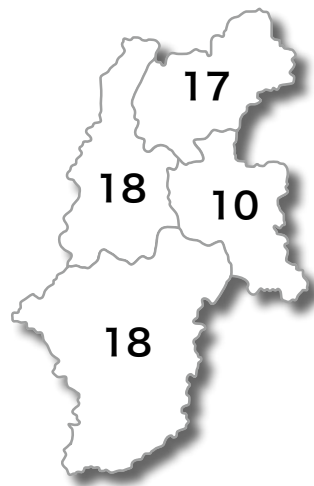
組合員の動き NOW

現在組合員数は 63 社です。

- 北信支部 17 社
- 東信支部 10 社
- 中信支部 18 社
- 南信支部 18 社

(2024年1月1日現在)

Total
63



令和5年度前期技能検定について

令和5年度 前期 技能検定 試験結果

職種：鉄工 作業名：構造物鉄工作業

総合合格率						
職種/級	科目	合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	R4年度 合格率	R3年度 合格率
1級	学 科	4 / 5	80%	<	82%	79%
	実 技	5 / 10	50%	>	43%	64%
	技 能 士	4 / 11	36%	<	43%	60%
2級	学 科	7 / 11	64%	>	63%	80%
	実 技	9 / 12	75%	>	50%	38%
	技 能 士	8 / 14	57%	>	43%	34%

※現図講習会の合格者数は学科・実技片方、両方合格者を含みます。
 ※実技学科両方受講者の合格者は片方合格含みます。
 ※各技能士受講者数には実技・学科の片方科目のみ受講者を含みます。
 ※講習会受講者は実技学科両方受講する予定で、当日どちらか欠席していただければ片方のみへカウントしております。
 ※講習会非受講者は、実技学科両方または実技のみ・学科のみ受講を全くしていない者とし、講習会当日欠席者も含みます。
 ※他県で試験、講習会のみ受講した者(1級実技受講1名)は含みません。

講習会受講者合格率						
職種/級	科目	合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	R4年度 合格率	R3年度 合格率
1級	現 図	2 / 2	100%	>	75%	80%
	実技学科両方	4 / 4	100%	>	25%	63%
	学科のみ	0 / 0	0%	<	100%	0%
	実技のみ	1 / 1	100%	>	60%	100%
	技 能 士	2 / 5	40%	<	55%	70%
2級	現 図	0 / 0	0%	<	100%	100%
	実技学科両方	2 / 4	50%	<	67%	0%
	学科のみ	1 / 1	100%	=	100%	100%
	実技のみ	1 / 1	100%	>	71%	67%
	技 能 士	1 / 6	17%	<	55%	50%

講習会非受講者合格率						
職種/級	科目	合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	R4年度 合格率	R3年度 合格率
1級	実技学科両方	0 / 0	0%	<	100%	0%
	学科のみ	0 / 1	0%	=	0%	50%
	実技のみ	3 / 5	60%	>	30%	57%
	技 能 士	3 / 6	50%	>	33%	42%
2級	実技学科両方	1 / 3	33%	>	20%	11%
	学科のみ	1 / 1	100%	>	0%	67%
	実技のみ	3 / 4	75%	>	42%	67%
	技 能 士	5 / 8	63%	>	35%	20%

職種：とび 作業名：とび

総合合格率						
職種/級	科目	合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	R4年度 合格率	R3年度 合格率
1級	学 科	13 / 40	33%	<	71%	80%
	実 技	22 / 48	46%	<	57%	85%
	技 能 士	15 / 52	29%	<	45%	73%
2級	学 科	3 / 3	100%	>	78%	40%
	実 技	4 / 5	80%	>	57%	50%
	技 能 士	4 / 5	80%	>	60%	33%

※各技能士受講者数には実技・学科の片方科目のみ受検、片方科目の受検免除者を含みます。
 ※講習会受講者には実技学科両方受講予定で当日どちらか欠席していても、片方科目を受講した者も含みます。
 ※講習会非受講者は実技学科両方または実技のみ、学科のみを全く受講していない者とし、また、実技のみ、学科のみ片方科目のみ受講予定で講習会当日欠席した者も含みます。
 ※県内受検者のみ掲載しております。
 ※五輪(2級1名)は含みません。

講習会受講者合格率						
職種/級	科目	合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	R4年度 合格率	R3年度 合格率
	実技学科両方	12 / 20	60%	>	44%	89%
	学科のみ	0 / 2	0%	<	75%	71%
	実技のみ	7 / 15	47%	>	17%	90%
	技 能 士	12 / 37	32%	<	45%	87%
	実技学科両方	3 / 3	100%	>	40%	100%
	学科のみ	0 / 0	0%	<	100%	0%
	実技のみ	1 / 2	50%	>	0%	0%
	技 能 士	4 / 5	80%	>	43%	100%

講習会非受講者合格率						
職種/級	科目	合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	R4年度 合格率	R3年度 合格率
1級	実技学科両方	2 / 6	33%	>	0%	20%
	学科のみ	2 / 4	50%	>	0%	50%
	実技のみ	1 / 5	20%	<	100%	50%
	技 能 士	3 / 15	20%	=	20%	33%
2級	実技学科両方	0 / 0	0%	=	0%	0%
	学科のみ	0 / 0	0%	<	100%	100%
	実技のみ	0 / 0	0%	<	100%	0%
	技 能 士	0 / 0	0%	<	100%	14%

組合からのお知らせ ⓘ

組合創立50周年記念 発行



50周年記念実行委員会

〔実行委員〕

倉科 賢三	理事長
西澤 章	副理事長
柳澤 章	副理事長
内田 聡	副理事長
富島 克洋	副理事長
青木 光幸	運営委員長
高木登志郎	技術委員長
飯島 正博	前理事長
事務局	

〔記念誌編集〕

実行委員会
運営委員会
事務局

組合創立50周年にあたり、記念事業として記念式典・記念講演会・記念祝賀会、記念誌発行と、50周年記念実行委員会のもと2年ほどの準備期間を経て行ってきましたが、昨年12月の記念誌発行を最後に全て無事に終わる事が出来ました。

組合創立から50年の大きな節目に盛大なる記念事業の開催と、皆さんの記憶にも残ったのではないかと思います。更に10年、20年と続き次の記念誌が発行される事を楽しみに実行委員会の役目も終わります。

◇ 計 報 ◇

- 堀 金 工 業 (株) 齊間社長のご母堂様 齊間 敏恵 様 令和5年9月7日
75歳にてご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り致します。
- 中 部 建 工 (株) 若月社長のご母堂様 若月 君子 様 令和5年10月24日
87歳にてご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り致します。
- フィット工業 (株) 相談役(組合 相談役) 高木 秀雄 様 令和5年11月30日
79歳にてご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り致します。
- 昭 和 興 業 (株) 工藤専務のご尊父様 西沢 俊彦 様 令和6年1月3日
91歳にてご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り致します。

編集にあたって

まずはこの度の50周年記念誌、皆様のご協力により何とか年内に発刊することができました。ご協力ありがとうございました。また年明け恒例の『顧問県議と行政との懇談会』も無事開催でき、今号において内容を掲載させて頂きました。

2024年元旦、北陸能登半島で最大震度7を観測する大きな地震が発生しました。長野県においても広範囲で大きな揺れを観測し、幸いにも目立った被害はありませんでしたが、この国に住んでいる以上、地震はいつどこで発生してもおかしくありません。改めて防災対策を見直し、万が一の為の準備を怠らないようにしましょう。

北陸地方は食材も豊富で、観光地としても魅力的な場所がたくさんあります。この3月には新幹線も敦賀まで延伸しますので、ぜひ皆さん北陸へ復興支援も兼ねて出かけてみてはいかがでしょうか？

運営委員長
(株)青木鐵工所 青木 光幸

表紙のことは

2024年おめでとうございます。今年は辰年(竜)ということで我が北信支部の観光名所で日本さくら名所100選に選定されている臥竜公園の桜を表紙に紹介させて頂きます。竜ヶ池の周りにはソメイヨシノを中心に約150本、公園全体で800本の桜を楽しめます。竜ヶ池の水面に映る桜や夜桜を見ながら名物である「黒いおでん」や「お団子」を召し上がるのがオススメです！隣接して須坂市動物園もあり、過去にアカカンガルーの「ハッチ」が全国的に話題になりました。竜が臥した姿に似ているという臥竜山も初心者向けのウォーキングにも最適です。ステキな須坂市を是非宜しくお願いします。



写真提供者
トライアン(株) 大日方 宏次

JAPAN Quality

FASTENING INNOVATION

中ボルト連結構造

実用新案 登録第3161303号
SASST技術評価 第18-04号取得



D-LOCK

株式会社トーネジ

詳細はホームページで <https://www.toneji.jp>

東京本社・営業部 〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩4丁目42-12インマビル4F
九州営業所 〒800-0227 福岡県北九州市小倉南区津田新町3-15-7ルミナスA小倉東101
札幌出張所 〒061-2282 北海道札幌市南区藤野2条6丁目5-6
つくば本社・工場 〒305-0882 茨城県つくば市みどりの中央85-2

TEL:03-3696-6661
TEL:093-383-9732
TEL:080-8155-1234
TEL:029-846-6101



SUNOX®

スノウチは溶接副資材の総合メーカーです。

QUALITY 品質 DEVELOP 開発 HUMAN 人材

あらゆるステークホルダーから、「良い会社」と評される企業を目指して

溶接副資材については、ご遠慮なくご相談ください。

株式会社 スノウチ
〒279-0024 千葉県浦安市港46
TEL: 047-353-8751
www.sunouchi.co.jp

安全・安心

建築鉄骨は品質保証の時代



当組合のNTKマークが安全・安心の目印です。

長野県鉄構事業協同組合

長野市吉田5丁目1-27 日新パークビル3階 TEL026-262-1595 FAX026-262-1597